

ビデオライブラリー用DVD一覧

	題名及び制作年	時間	制作	内 容	ビデオライブラリー設置所		
					前橋	高崎	太田
1	なぜ企業に人権啓発が必要なのか (平成26年)	22分	東映	<p>企業にとって人権啓発とは何なのでしょう？頭では、差別や偏見なく、人権に配慮して行動しなければいけないと知っているとは思いますが、では、自分の日々の業務の中で、何ができるのでしょうか。</p> <p>この作品は、人権啓発を考えるためのヒントを、企業を舞台に日常の会社生活の一コマを切り取ったわかりやすいドラマとして構成し、あらためて考えるための素材として活用できる作品。</p>	○	×	○
2	フェアな会社で働きたい (平成27年)	25分	東映	<p>企業がさまざまなステークホルダーの人権を尊重することは、現代の企業にとって必須のことであり、またそのための社員教育も重要になっています。しかし、社員が人権啓発について、具体的に自分のこととしてとらえることは難しいことでもあります。</p> <p>この作品は、人事部の新入社員の体験をドラマにして、公正な採用選考をはじめとする企業における人権のあり方について学ぶ教材として活用できる作品。</p>	×	○	○
3	人権啓発は企業にどんな力をもたらすのか (平成28年)	25分	東映	<p>いま、企業は利潤追求という価値観だけでなく、社会にとって責任ある存在であるという立場が求められています。そのために、企業内で人権啓発の必要性が高まっています。</p> <p>この作品は、企業に働く人が人権の視点を取り入れて仕事に関わっていくことが企業にどんな力をもたらすかということ、ドラマ形式で事例をとりあげながら考えていく作品。</p>	○	○	×
4	“尊重する”から始めよう ～公正採用選考の基本を学ぶ～ (平成29年)	29分	東映	<p>いま、企業は利潤追求だけでなく、社会にとって責任ある存在であることが求められています。そのものさしとなるのが企業の採用選考活動です。採用選考は短い期間ですが、その一瞬間に会社と応募者双方の将来がかかっています。</p> <p>この作品では、採用選考に関わる事例を短く取り上げ、公正な採用選考の基本的な考え方と、その原点である同和問題と人権尊重のころを学びます。</p>	○	○	○
5	公正な採用選考が企業にもたらすもの (平成30年)	25分	東映	<p>企業において、採用選考は会社の未来を描くために大切な業務であり、それを公正に行うことによって人材を確保することは、企業の発展に不可欠なことです。採用選考が公正に行われず、予断や偏見により採用担当者が可否の判断を誤ると、かけがえのない人材を永久に失ってしまいます。</p> <p>また、そればかりではなく、採用選考時に応募者の人権をないがしろにすれば、その情報が広く伝播し、会社そのものの信頼を失いかねません。</p> <p>この作品は、公正な採用選考の意義や、公正さをいかに守っていくかなどについて、具体的な事例をふんだんに盛り込み、企業の採用担当者の目線でわかりやすく描く作品。</p>	○	○	○
6	出会いを豊かなものに ～公正さでのぞむ採用選考～ (令和2年)	30分	東映	<p>採用選考は、企業にとって、未来を左右するようなどても大事な物です。採用選考の場を豊かな出会いの場とすることは、会社にとっても応募者にとっても有益となります。よりよい採用選考のためには、予断と偏見にとらわれず、応募者の適性と能力のみを判断基準とし、応募者の基本的な人権を尊重した採用選考を行うことが重要です。</p> <p>この作品では、公正な採用選考をおこなうために、どのようなことに気をつければよいか、また、より良い採用選考の方法はどんなものかを解説するためのものです。立場や知識の違う多様な担当者が登場しますので、いろいろな立場の採用担当者の目線で視聴することが可能な作品となっています。</p>	○	○	○
7	公正な採用選考のために ～想いの“架け橋”になる公正な採用選考のために～ (令和3年)	30分	東映	<p>採用選考は、応募者と企業の想いを結ぶ“架け橋”と言えます。応募者はいきいきと働けるより良い職場を求め、企業は優秀な人材を採用して思い切り働いてもらいたい。その両者をつなぐ採用選考の場においては、応募者の人権を尊重し、広く門戸を開くことが大切です。また、適性と能力をはかる適切な評価基準を作ることも重要です。</p> <p>この作品では、人事部に配属された新入社員が、上司のあたたかい指導を受け、同期入社社員と心の交流をしながら、人事部員として採用選考の基本を身に付けていく成長のものがたりです。</p>	○	○	○
8	ともに歩むために ～公正な採用選考の理解と認識を目指して～ (令和5年)	28分	東映	<p>新たな仲間を探して出会い、互いを知って共に歩むために。 そして働く従業員ひとりひとりが人権意識を持って共に歩むために公正な採用選考の理解と認識を目指します。</p> <p>この作品では、ある企業の人事職員が採用選考において相次ぐ内定辞退に直面し、さらに就活情報サイトでの批判的な書き込みコメントをきっかけに、自身の会社できちんと公正な採用選考が行われていたのか、人権意識やCSR(企業の社会的責任ある活動)の観点で無意識のつまづきが無かったか、採用プロセスの検証と点検を行っていくことで改めて公正な採用選考に向き合う物語です。</p>	○	○	○

(注) 他にもDVDがありますので、お問い合わせください。なお、ビデオライブラリー設置所の「×」印は、貸出不能となっています。